

平成 29 年度版  
こちらの様式をご使用ください  
様式は、メール等でお送り致します



**平成 29 年度公益財団法人全日本柔道連盟**  
**公認柔道指導者資格 A指導員養成講習会 手続資料**

**目 次**

1.	講習会の開催についてお願い（H29.5.30付通知）	1
2.	実施内容（カリキュラム）	2
3.	開催要項・日程表・受講推薦用紙	
	（1）秋田県開催	3～5
	（2）東京都開催	6～8
	（3）福岡県開催	9～11

都道府県柔道連盟(協会) 会長 殿

公益財団法人 全日本柔道連盟  
専務理事 近石 康宏  
(公印省略)

平成29年度(公財)全日本柔道連盟 公認柔道指導者資格制度における  
「A指導員養成講習会」の開催について(ご依頼)

平素より、本連盟の公認柔道指導者資格制度の推進にご協力を賜り、誠に有難うございます。

さて、指導者養成委員会におきましては、標記講習会を下記(別紙要項)の通り

1. 秋田県、2. 東京都、3. 福岡県

の3か所にて開催致しますので、貴連盟(協会)におかれましては、受講希望者を、別紙の推薦用紙にてご推薦いただきますようお願い申し上げます。人数の制限は設けておりません。

推薦用紙は下記締め切りまでに本連盟 普及振興課宛にご提出下さい。また、受講推薦者がいない場合でもその旨を記入しご回答下さい。(FAX・メールどちらでも可)

また、交通・宿泊については本連盟の経費負担はございませんのでご注意ください。

ご連絡が大変遅くなりまして申し訳ございませんが、ご確認お手続きの程宜しくお願い致します。

敬具

記

1. 秋田県開催

開催期間予定 : 【前期】平成 29 年 8 月 4 日(金)～6 日(日)の 2泊3日  
【後期】平成 29 年 9 月 16 日(土)～17 日(日)の 1泊2日  
場 所 : 秋田大学(前期および後期)  
提出締め切り : 平成 29 年 7 月 7 日(金)

2. 東京都開催

開催期間予定 : 平成 29 年 8 月 23 日(水)～27 日(日)の 4泊5日  
場 所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター  
提出締め切り : 平成 29 年 7 月 21 日(金)

3. 福岡県開催

開催期間予定 : 【前期】平成 29 年 11 月 24 日(金)～26 日(日)の 2泊3日  
【後期】平成 30 年 2 月 17 日(土)～18 日(日)の 1泊2日  
場 所 : 福岡県立修猷館高校 および 福岡県武道館  
提出締め切り : 平成 29 年 9 月 29 日(金)

添付書類

1. カリキュラム内容……………1部  
2. 開催要項……………各3部  
3. 日程表……………各3部  
4. 受講者推薦用紙……………各3部

} 不足する場合はコピー  
してお使いください

以上

別紙資料【5. 実施内容(カリキュラム)について】

\*40時間の講習会終了後、検定試験を1時間行う。

その他20時間分の自宅学習、および課題レポートの提出を行う

区分	カリキュラム内容 全日本柔道連盟 公認柔道指導者資格制度 A指導員			時間数		
	No.	科目	内容	集合	その他	計
種目の特性 に応じた 基礎理論	①	柔道論Ⅲ	柔道の本質	1	0	1
			柔道発展史と近代柔道	1	0	1
			柔道の国際化	1	1	2
			柔道を通じた国際理解・貢献	1	1	2
			柔道の今日的課題	1	1	2
	②	安全管理・指導Ⅲ	柔道の安全管理・安全指導体制	2	1	3
			柔道事故の実態と法的責任	1	1	2
	③	指導者の倫理Ⅲ	暴力行為（ハラスメント等）のない柔道指導、礼節に裏付けられた行動とコンプライアンス	1	0	1
	④	柔道の科学Ⅲ	柔道指導に必要な生理学的知識	2	0	2
			柔道指導に必要な栄養学的知識	2	0	2
			柔道指導に必要な心理学的知識	2	0	2
			柔道指導に必要な運動学的知識	2	0	2
	⑤	柔道指導論	柔道技術の練習法	1	0	1
			目的や対象に応じた柔道指導	1	0	1
⑥	柔道の競技力向上 策	柔道競技力向上のための情報戦略システム	1	2	3	
		柔道競技者の養成システム	1	0	1	
		柔道指導者の養成システム	1	0	1	
計				22	7	29
実技	①	実践的指導	基本指導の応用と実践	1	0	1
			投げ技と固め技の実践的指導	2	0	2
			対人技能（連絡技、変化技等）実践的指導	1	0	1
	②	体カトレーニングⅢ	体力向上とコンディショニング	1	2	3
	③	救急処置Ⅲ	柔道場での救急処置と事故後の対応	1	0	1
	④	審判規定と審判法Ⅱ	審判規定と審判法の実際、および問題点	1	1	2
⑤	柔道形	各種「形」	2	0	2	
計				9	3	12
指導実習	①	指導計画Ⅱ	指導計画立案の実践	3	2	5
			指導計画の実施と評価の実践	3	4	7
	②	対象に応じた指導法Ⅱ	対象に応じた指導の実践	3	4	7
計				9	10	19
合計				40	20	60

平成29年度 公益財団法人全日本柔道連盟  
公認柔道A指導員養成講習会(秋田県開催) 開催要項(案)

秋田

1. 目的 指導者を養成するために必要とされる程度の高度な指導力を有する公認柔道A指導員を育成することを目的とする。
2. 主催 公益財団法人全日本柔道連盟 (協力：秋田県柔道連盟)
3. 開催期間 【前期】平成29年8月4日(金)～8月6日(日)の2泊3日  
・受付時間 4日(金)8:00～ 開講式8:30～、講義8:50～(予定)  
・終了時間 6日(日)19:30頃(予定)  
【後期】平成29年9月16日(土)～17日(日)1泊2日  
・受付時間 16日(土)8:30～ 講義8:50～(予定)  
・終了時間 17日(日)16:30頃(予定)  
\*日程表(案)を添付します。調整中のため変更になる可能性があります。
4. 会場 秋田大学 受講会場については後ほどお知らせいたします。  
〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号  
秋田駅からバス約6分 手形山経由大学病院線(西口12番)秋田大学前下車
5. 受講者 各都道府県からの推薦者とする。  
\*人数が規定に達しない場合は、中止とする場合もありますのでご了承ください。
6. 受講条件・経費 (1) 全日本柔道連盟の登録会員(指導者資格登録者)であること。  
(2) 移行措置にてA・B指導員に認定された方(平成25年4月1日認定者)で都道府県より推薦された者を対象とする。  
(3) 参加に係る経費において、本連盟からの経費負担はありません。  
\*受講料・交通費・宿泊費・食費等は全て自己負担
7. 実施内容 前期及び後期の講義終了後、検定試験を1時間行う。  
\*今回一部だけ受講し次年度以降に残りのカリキュラムを受講することも可能です。  
受講有効期間は申込年度を含め4年間です。  
また、その他20時間分の自宅学習、および課題レポートの提出を行う。  
(別紙の日程表・カリキュラム参照)
8. 検定試験 検定は、技能検査、筆記試験、および課題レポート等の評価による総合判定とする。
9. 資格審査 本連盟の中央指導者資格審査委員会にて審査する。
10. 受講料 ¥8,000(テキスト代含む)  
本連盟からの受講者決定通知到着後にお振り込みのこと。  
今回一部受講(分割受講)の場合でも、受講料は最初に全額お支払いいただきます。
11. その他 (1) 資格の有効期限は4年間とし4年毎に更新する。本資格を更新しようとする者は、資格有効期限内に本連盟の定める更新講習会(ポイント制)を受けなければならない。  
(2) 必携品：筆記用具、柔道衣(白のみ)およびトレーニングウェアとし、テキスト等の資料は主催者が用意する。  
(3) 本講習会受講に際し取得した個人情報、本連盟が養成講習会関係資料の発送等を実施する際に利用し、これ以外の目的に個人情報を使用する際は、その旨を明示し了解を得るものとする。
12. 参加申込み等 (1) 都道府県柔道連盟(協会)は、平成29年7月7日(金)までに所定の受講者推薦用紙にて申込むこと。  
(2) 問合せは(公財)全日本柔道連盟事務局・総務部普及振興課まで  
TEL:03-3818-4199 FAX:03-3812-3995 E-mail:shidou@judo.or.jp

平成29年度 全日本柔道連盟公認 A指導員養成講習会 日程(案) \*時間割と担当は現在調整中です。変更になることがありますのでご了承下さい。

秋田

月日	1		2		3		昼休み	4		5		6		7		8		9		
	850	950	1055	1100	1200	1300		1400	1405	1505	1510	1610	1615	1715	1720	1820	1825	1925		
1日目 8月4日(金)	受付 8:00~ 開講式	実技 救急処置Ⅲ 柔道場での救急措置と 事故後の対応	実技 体カトレニングⅢ 体力向上とコンディ ショニング	実技 石井	理論 柔道の競技力向上策 柔道競技力向上のため の情報戦略システム	石井	実技 各種「形」 各種「形」	実技 柔道形 各種「形」	実技 審判規定と審判法Ⅱ 審判規定と審判法の実 際、および問題点	実習 指導計画Ⅱ 指導計画立案の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画立案の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画立案の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画立案の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画立案の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画立案の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画立案の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画立案の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画立案の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画立案の実践	
2日目 8月5日(土)	理論 柔道論Ⅲ 柔道の本質	理論 指導者の倫理Ⅲ 暴力行為(ひきかき等)のない運動環境の 創りに関する行動指針(シラカバ)	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道事故の実態と法的 責任	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全 指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全 指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全 指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全 指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全 指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全 指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全 指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全 指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全 指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全 指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全 指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全 指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全 指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全 指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全 指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全 指導体制	
3日目 8月6日(日)	理論 柔道の競技力向上策 柔道競技者の養成シ ステム	理論 柔道指導論 目的や対象に応じた柔 道指導	理論 柔道指導論 柔道技術の練習法	理論 柔道指導論 柔道技術の練習法	理論 柔道指導論 柔道技術の練習法	理論 柔道指導論 柔道技術の練習法	理論 柔道指導論 柔道技術の練習法	理論 柔道指導論 柔道技術の練習法	理論 柔道指導論 柔道技術の練習法	理論 柔道指導論 柔道技術の練習法	理論 柔道指導論 柔道技術の練習法	理論 柔道指導論 柔道技術の練習法	理論 柔道指導論 柔道技術の練習法	理論 柔道指導論 柔道技術の練習法	理論 柔道指導論 柔道技術の練習法	理論 柔道指導論 柔道技術の練習法	理論 柔道指導論 柔道技術の練習法	理論 柔道指導論 柔道技術の練習法	理論 柔道指導論 柔道技術の練習法	理論 柔道指導論 柔道技術の練習法
4日目 9月16日(土)	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐	実習 対象に応じた指導法Ⅱ 高橋・遊佐
5日目 9月17日(日)	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価 の実践

平成29年度 全日本柔道連盟  
A指導員養成講習会(秋田県開催)の受講者推薦について(回答)

公益財団法人全日本柔道連盟 総務部 普及振興課 宛  
FAX:03-3812-3995  
E-MAIL: shidou@judo.or.jp

秋田

都道府県

以下の者を、秋田県開催のA指導員養成講習会受講者として推薦いたします。

ふりがな		性別	生年月日	西暦	年	月	日
氏名・段位		男・女		満	歳		H29.4.1時点
全柔連登録メンバーID (9ケタ)							
指導者認定番号 (9ケタ)							
現住所	〒 住所(都道府県名から記入)			TEL			
書類送付先:いずれかに○をお付け下さい。 ( )自宅 ( )勤務先				FAX			
				携帯			
				e-mail			
勤務先名							
勤務先詳細	〒 住所(都道府県名から記入)			TEL			
				FAX			
				e-mail			
派遣依頼文書				必要	・	不要	
	*どちらかに○をお付け下さい。 *どちらにも記載がない方には作成・発送致しませんのでご注意ください						
派遣依頼文書が必要な方は詳細をご記入下さい	派遣依頼先・役職名						
	派遣依頼先・氏名						
派遣依頼文書送付先	自宅 ・ 勤務先本人宛 ・ 勤務先上記役職者宛						
指導歴	1.	年	月	～	年	月	( )において
	2.	年	月	～	年	月	( )において
	3.	年	月	～	年	月	( )において
所属団体名(チーム)							

参加日程について	( )全日程受講する						
	( )部分参加にて受講する *下記より参加する日程に○をお付け下さい						
	( )8/4(金)	( )8/5(土)	( )8/6(日)	( )9/16(土)	( )9/17(日)		

※受講条件は、移行措置にてAおよびB指導員に認定されている方(平成25年4月1日認定者)となります。  
※回答締切日は、平成29年7月7日(金)です。

平成29年度 公益財団法人全日本柔道連盟  
公認柔道A指導員養成講習会(東京都開催) 開催要項(案)

東京

1. 目的 指導者を養成するために必要とされる程度の高度な指導力を有する公認柔道A指導員を育成することを目的とする。
2. 主催 公益財団法人全日本柔道連盟
3. 開催期間 平成29年8月23日(水)～8月27日(日)の4泊5日  
受付時間 23日(水)8時00時～ 開講式8:30～、講義8:50～(予定)  
終了時間 27日(日)16:30頃(予定)  
\*日程表(案)を添付します。調整中のため変更になる可能性があります。
4. 会場 味の素ナショナルトレーニングセンター 1F 大研修室/柔道場  
〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1 TEL:03-5963-0200(代表)
5. 受講者 各都道府県からの推薦者とする。  
\*人数が規定に達しない場合は、中止とする場合もありますのでご了承ください。
6. 受講条件・経費 (1) 全日本柔道連盟の登録会員(指導者資格登録者)であること。  
(2) 移行措置にてA・B指導員に認定された方(平成25年4月1日認定者)で都道府県より推薦された者を対象とする。  
(3) 参加に係る経費において、本連盟からの経費負担はありません。  
\*受講料・交通費・宿泊費・食費等は全て自己負担
7. 実施内容 40時間の講習会終了後、検定試験を1時間行う。  
\*今回一部だけ受講し次年度以降に残りのカリキュラムを受講することも可能です。  
受講有効期間は申込年度を含め4年間です。  
また、その他20時間分の自宅学習、および課題レポートの提出を行う。  
(別紙の日程表・カリキュラム参照)
8. 検定試験 検定は、技能検査、筆記試験、および課題レポート等の評価による総合判定とする。
9. 資格審査 本連盟の中央指導者資格審査委員会にて審査する。
10. 受講料 ¥8,000(テキスト代含む)  
本連盟からの受講者決定通知到着後にお振り込みのこと。  
今回一部受講(分割受講)の場合でも、受講料は最初に全額お支払いいただきます。
11. その他 (1) 資格の有効期限は4年間とし4年毎に更新する。本資格を更新しようとする者は、資格有効期限内に本連盟の定める更新講習会(ポイント制)を受けなければならない。  
(2) 必携品:筆記用具、柔道衣(白のみ)およびトレーニングウェアとし、テキスト等の資料は主催者が用意する。  
(3) 本講習会受講に際し取得した個人情報、本連盟が養成講習会関係資料の発送等を実施する際に利用し、これ以外の目的に個人情報を使用する際は、その旨を明示し了解を得るものとする。
12. 参加申込み等 (1) 都道府県柔道連盟(協会)は、平成29年7月21日(金)までに所定の受講者推薦用紙にて申込みこと。  
(2) 問合せは(公財)全日本柔道連盟事務局・総務部普及振興課まで  
TEL:03-3818-4199 FAX:03-3812-3995 E-mail:shidou@judo.or.jp

平成29年度 全日本柔道連盟公認 A指導員養成講習会 日程(案) \*時間割と担当は現在調整中です。変更になることがありますのでご了承ください。

東京

月日	1	2	3	昼休み	4	5	6	7	8	9						
											850	950	1055	1100	1200	1300
1日目 8月23日 (水)	受付 8:00~ 開講式 8:30~	理論 指導者の倫理III <small>講義のテーマ(1)は(2)のみの受講生向けに実施される予定です。</small>	理論 柔道論III 柔道発祥史と近代柔道		実技 柔道形 各種「形」	実技 柔道形 各種「形」	理論 柔道論III 柔道の国際化	理論 柔道論III 柔道を通じた国際理解・貢献	理論 柔道の競技力向上策 柔道指導者の養成システム	理論 柔道の競技力向上策 柔道競技者の養成システム						
2日目 8月24日 (木)	実習 対象に応じた指導法II	実習 対象に応じた指導法II	実習 対象に応じた指導法II		実技 実践的指導 基本指導の応用と実践	実技 実践的指導 投技と固技の実践的指導	実技 実践的指導 投技と固技の実践的指導	実技 実践的指導 対人技能の実践的指導	理論 柔道の科学III 柔道指導に必要な運動学的知識	理論 柔道の科学III 柔道指導に必要な運動学的知識						
3日目 8月25日 (金)	実技 体カトレーニングIII 体力向上とコンディショニング	実技 救急処置III 柔道場での救急措置と事故後の対応	理論 柔道の競技力向上策 柔道競技力向上のための情報戦略システム		実技 審判規定と審判法II 審判規定と審判法の実際、および問題点	理論 柔道指導論 目的や対象に応じた柔道指導	理論 柔道指導論 柔道技術者の練習法	理論 柔道の科学III 柔道指導に必要な心理学的知識	理論 柔道の科学III 柔道指導に必要な心理学的知識							
4日目 8月26日 (土)	理論 安全管理・指導III 柔道事故の実態と法的責任	理論 柔道の科学III 柔道指導に必要な生理学的知識	理論 柔道の科学III 柔道指導に必要な生理学的知識		理論 安全管理・指導III 柔道の安全管理・安全指導体制	理論 安全管理・指導III 柔道の安全管理・安全指導体制	理論 柔道の科学III 柔道指導に必要な栄養学的知識	理論 柔道の科学III 柔道指導に必要な栄養学的知識	実習 指導計画II 指導計画立案の実践	実習 指導計画II 指導計画立案の実践						
5日目 8月27日 (日)	実習 指導計画II 指導計画立案の実践	実習 指導計画II 指導計画の実施と評価の実践	実習 指導計画II 指導計画の実施と評価の実践		理論 指導計画II 指導計画の実施と評価の実践	理論 柔道論III 柔道の今日的課題	検定試験	閉講式 16:30終了予定								



平成29年度 全日本柔道連盟  
A指導員養成講習会(東京都開催)の受講者推薦について(回答)

公益財団法人全日本柔道連盟 総務部 普及振興課 宛  
FAX:03-3812-3995  
E-MAIL:shidou@judo.or.jp

東京

都道府県

以下の者を、東京都開催のA指導員養成講習会受講者として推薦いたします。

ふりがな		性別	生年 月日	西暦	年	月	日
氏名・段位		男・女		満	歳		H29.4.1時点
全柔連登録メンバーID (9ケタ)							
指導者認定番号 (9ケタ)							
現住所	〒 住所(都道府県名から記入)			TEL			
書類送付先:いずれかに○をお付け下さい。 ( )自宅 ( )勤務先				FAX			
				携帯			
				e-mail			
勤務先名							
勤務先詳細	〒 住所(都道府県名から記入)			TEL			
				FAX			
				e-mail			
派遣依頼文書				必要 ・ 不要			
	*どちらかに○をお付け下さい。 *どちらにも記載がない方には作成・発送致しませんのでご注意ください						
派遣依頼文書が必要な方は詳細をご記入下さい	派遣依頼先・役職名						
	派遣依頼先・氏名						
派遣依頼文書送付先	自宅 ・ 勤務先本人宛 ・ 勤務先上記役職者宛						
指導歴	1.	年	月	～	年	月	( )において
	2.	年	月	～	年	月	( )において
	3.	年	月	～	年	月	( )において
所属団体名(チーム)							

参加日程について	( )全日程受講する
	( )部分参加にて受講する *下記より参加する日程に○をお付け下さい
	( )8/23(水) ( )8/24(木) ( )8/25(金) ( )8/26(土) ( )8/27(日)

※受講条件は、移行措置にてAおよびB指導員に認定されている方(平成25年4月1日認定者)となります。  
※回答締切日は、平成29年7月21日(金)です。

1. 目的 指導者を養成するために必要とされる程度の高度な指導力を有する公認柔道A指導員を育成することを目的とする。
2. 主催 公益財団法人全日本柔道連盟 (協力: 福岡県柔道協会)
3. 開催期間 【前期】平成29年11月24日(金)～11月26日(日)の2泊3日  
・受付時間 24日(金)8時00時～ 開講式8:30～、講義8:50～(予定)  
・終了時間 26日(日)19:30頃(予定)  
【後期】平成30年2月17日(土)～2月18日(日)の1泊2日  
・受付時間 17日(土)8時30時～、講義8:50～(予定)  
・終了時間 18日(日)16:30頃(予定)  
\*合計5日(40時間)の実施となります。  
\*日程表を添付します。調整中のため内容は平成28年度のものでございますのでご注意ください。
4. 会場 ◆11/24(金)、11/26(日)、2/17(土)、2/18(日) 福岡県立修猷館高等学校 視聴覚教室/武道場  
〒814-8510 福岡県福岡市早良区西新6-1-10 Tel: 092-821-0733  
最寄駅 福岡市地下鉄空港線「西新」駅 1番出口  
◆11/25(土)のみ福岡武道館  
〒810-0052 福岡県福岡市中央区大濠1-1-1 Tel: 092-714-1558  
最寄駅 福岡市地下鉄七隈線「六本松」駅
5. 受講者 各都道府県からの推薦者とする。  
\*人数が規定に達しない場合は、中止とする場合もありますのでご了承ください。
6. 受講条件・経費 (1) 全日本柔道連盟の登録会員(指導者資格登録者)であること。  
(2) 移行措置にてA・B指導員に認定された方(平成25年4月1日認定者)で都道府県より推薦された者を対象とする。  
(3) 参加に係る経費において、本連盟からの経費負担はありません。  
\*受講料・交通費・宿泊費・食費等は全て自己負担
7. 実施内容 前期及び後期の講義終了後、検定試験を1時間行う。  
\*今回一部だけ受講し次年度以降に残りのカリキュラムを受講することも可能です。  
受講有効期間は申込年度を含め4年間です。  
また、その他20時間分の自宅学習、および課題レポートの提出を行う。  
(別紙の日程表・カリキュラム参照)
8. 検定試験 検定は、技能検査、筆記試験、および課題レポート等の評価による総合判定とする。
9. 資格審査 本連盟の中央指導者資格審査委員会にて審査する。
10. 受講料 ¥8,000(テキスト代含む)  
本連盟からの受講者決定通知到着後にお振り込みのこと。  
今回一部受講(分割受講)の場合でも、受講料は最初に全額お支払いいただきます。
11. その他 (1) 資格の有効期限は4年間とし4年毎に更新する。本資格を更新しようとする者は、資格有効期限内に本連盟の定める更新講習会(ポイント制)を受けなければならない。  
(2) 必携品: 筆記用具、柔道衣(白のみ)およびトレーニングウェアとし、テキスト等の資料は主催者が用意する。  
(3) 本講習会受講に際し取得した個人情報、本連盟が養成講習会関係資料の発送等を実施する際に利用し、これ以外の目的に個人情報を使用する際は、その旨を明示し了解を得るものとする。
12. 参加申込み等 (1) 都道府県柔道連盟(協会)は、平成29年9月29日(金)までに所定の受講者推薦用紙にて申込みこと。  
(2) 問合せは(公財)全日本柔道連盟事務局・総務部普及振興課まで  
TEL: 03-3818-4199 FAX: 03-3812-3995 E-mail: shidou@judo.or.jp

平成29年度 全日本柔道連盟公認 A 指導員養成講習会 日程 (案)

\*時間割と担当はこれから調整いたします。開催日時以外の内容は昨年度のものでございます。ご注意ください。

月日	受付	1		2		3		昼休み	4		5		6		7		8		9	
		850	950	1055	1100	1200	1300		1400	1505	1510	1610	1615	1715	1720	1820	1825	1925		
11月24日 (金)	8:00~ 開講式	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道事故の実態と法的責任	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全指導体制	理論 安全管理・指導Ⅲ 柔道の安全管理・安全指導体制
11月25日 (土)	8:30~	理論 指導者の倫理Ⅲ <small>暴力行為(のみが対象)のない柔道競技場、館に適用可能な行動とJFJ/JFA</small>	理論 柔道論Ⅲ 柔道の本質	理論 柔道論Ⅲ 柔道を通じた国際理解・貢献	理論 柔道論Ⅲ 柔道指導に必要な心理学的知識	理論 柔道論Ⅲ 柔道指導に必要な心理学的知識	理論 柔道論Ⅲ 柔道指導に必要な心理学的知識	理論 柔道論Ⅲ 柔道指導に必要な心理学的知識	理論 柔道論Ⅲ 柔道指導に必要な心理学的知識	理論 柔道論Ⅲ 柔道指導に必要な心理学的知識	理論 柔道論Ⅲ 柔道指導に必要な心理学的知識	理論 柔道論Ⅲ 柔道指導に必要な心理学的知識	理論 柔道論Ⅲ 柔道指導に必要な心理学的知識	理論 柔道論Ⅲ 柔道指導に必要な心理学的知識	理論 柔道論Ⅲ 柔道指導に必要な心理学的知識	理論 柔道論Ⅲ 柔道指導に必要な心理学的知識	理論 柔道論Ⅲ 柔道指導に必要な心理学的知識	理論 柔道論Ⅲ 柔道指導に必要な心理学的知識	理論 柔道論Ⅲ 柔道指導に必要な心理学的知識	理論 柔道論Ⅲ 柔道指導に必要な心理学的知識
11月26日 (日)		実技 救急処置Ⅲ 柔道場での救急措置と事故後の対応	実技 体カトレーニングⅢ 体力向上とコンディショニング	理論 柔道の競技力向上策 柔道競技力向上のための情報戦略システム	実技 柔道形 各種「形」	実技 柔道形 各種「形」	実技 柔道形 各種「形」	実技 柔道形 各種「形」	実技 柔道形 各種「形」	実技 柔道形 各種「形」	実技 柔道形 各種「形」	実技 柔道形 各種「形」	実技 柔道形 各種「形」	実技 柔道形 各種「形」	実技 柔道形 各種「形」	実技 柔道形 各種「形」	実技 柔道形 各種「形」	実技 柔道形 各種「形」	実技 柔道形 各種「形」	実技 柔道形 各種「形」
2月17日 (土)		実習 対象に応じた指導法Ⅱ	実習 対象に応じた指導法Ⅱ	実習 対象に応じた指導法Ⅱ	実習 対象に応じた指導法Ⅱ	実習 対象に応じた指導法Ⅱ	実習 対象に応じた指導法Ⅱ	実習 対象に応じた指導法Ⅱ	実習 対象に応じた指導法Ⅱ	実習 対象に応じた指導法Ⅱ	実習 対象に応じた指導法Ⅱ	実習 対象に応じた指導法Ⅱ	実習 対象に応じた指導法Ⅱ	実習 対象に応じた指導法Ⅱ	実習 対象に応じた指導法Ⅱ	実習 対象に応じた指導法Ⅱ	実習 対象に応じた指導法Ⅱ	実習 対象に応じた指導法Ⅱ	実習 対象に応じた指導法Ⅱ	実習 対象に応じた指導法Ⅱ
2月18日 (日)		実習 指導計画Ⅱ 指導計画立案の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価の実践	実習 指導計画Ⅱ 指導計画の実施と評価の実践

平成29年度 全日本柔道連盟  
A指導員養成講習会(福岡県開催)の受講者推薦について(回答)

公益財団法人全日本柔道連盟 総務部 普及振興課 宛  
FAX:03-3812-3995  
E-MAIL:shidou@judo.or.jp

福岡

都道府県

以下の者を、福岡県開催のA指導員養成講習会受講者として推薦いたします。

ふりがな		性別	生年 月日	西暦	年	月	日
氏名・段位		男・女		満	歳	H29.4.1時点	
全柔連登録メンバーID (9ケタ)							
指導者認定番号 (9ケタ)							
現住所	〒 住所(都道府県名から記入)			TEL			
書類送付先:いずれかに○をお付け下さい。 ( )自宅 ( )勤務先				FAX			
				携帯			
				e-mail			
勤務先名							
勤務先詳細	〒 住所(都道府県名から記入)			TEL			
				FAX			
				e-mail			
派遣依頼文書	必要 ・ 不要 *どちらかに○をお付け下さい。 *どちらにも記載がない方には作成・発送致しませんのでご注意ください						
派遣依頼文書が必要な方は詳細をご記入下さい	派遣依頼先・役職名						
	派遣依頼先・氏名						
派遣依頼文書送付先	自宅 ・ 勤務先本人宛 ・ 勤務先上記役職者宛						
指導歴	1.	年	月	～	年	月	( )において
	2.	年	月	～	年	月	( )において
	3.	年	月	～	年	月	( )において
所属団体名(チーム)							

参加日程について	( )全日程受講する
	( )部分参加にて受講する *下記より参加する日程に○をお付け下さい
	( )11/24(金) ( )11/25(土) ( )11/26(日) ( )12/17(土) ( )12/18(日)

※受講条件は、移行措置にてAおよびB指導員に認定されている方(平成25年4月1日認定者)となります。  
※回答締切日は、平成29年9月29日(金)です。